

ソーシャルワークの理論と方法（専門）B

授業科目	ソーシャルワークの理論と方法（専門）B				実務家教員担当科目	-					
単位	2.	履修	選択	開講年次	3	開講時期	後期				
担当教員	笠 修彰										
授業概要	本講義では、精神医療、精神障害者福祉における多職種連携・多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について、具体的事例を取り上げながら解説する。また、精神保健福祉士と所属機関の関係を踏まえ、組織における運営管理や介入、活動展開に関する概念と方法について学ぶとともに、ソーシャルワークの実践展開をミクロ・メゾ・マクロの連続性と重層性を踏まえ解説する。さらに、精神保健福祉分野以外での精神保健福祉士の実践展開についても解説する。										
授業形態	講義	授業方法	グループワークやディスカッションを取り入れる。								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	①精神医療、精神障害者福祉における多職種連携・他機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について理解する。 ②精神保健福祉士と所属機関の関係を踏まえ、組織運営管理、組織介入・組織活動の展開に関する概念と方法について理解する。 ③個別支援からソーシャルアクションへの実践展開をミクロ・メゾ・マクロの連続性・重層性を踏まえて理解する。 ④精神保健福祉分野以外における精神保健福祉士の実践展開を理解する。										
理想的レベル	標準レベルに加え、本科目で学習した知識について、援助場面での活用をイメージし、具体的な展開を考えることができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験	70%										
小テスト											
レポート	10%										
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他	20%				授業に臨む姿勢や態度、積極性、参加意欲等						
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE21306J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
テキスト、配布資料をもとに授業で学んだことを振り返るとともに、授業外で調べたこと等をノートにまとめる。										4	
授業計画											
第1回	オリエンテーション										
第2回	多職種連携・多機関連携の意義と目的・連携に関わる概念整理										

第3回	多職種連携・多機関連携の留意点・当事者中心、当事者参加の原則・目標共有
第4回	チームビルディングとチームの形態・特徴
第5回	多職種連携・多機関連携における精神保健福祉士の役割の実際
第6回	組織と精神保健福祉士の関係性
第7回	組織介入・組織改善の実践モデル
第8回	組織運営管理の実際
第9回	精神保健福祉分野におけるコミュニティワークの意義
第10回	地域における精神保健福祉の向上
第11回	個別支援から地域における基本的視点
第12回	個別支援から地域における体制整備
第13回	政策提言・政策展開
第14回	精神障害者の地域移行・地域定着に関わる展開
第15回	関連分野における精神保健福祉士の実践展開、まとめ
テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『ソーシャルワークの理論と方法〔精神専門〕』中央法規
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書、教材等については、授業のなかで紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	課題に関しては、次の授業の際にポイントを整理しフィードバックを行う。
学生へのメッセージ・コメント	<p>受講にあたっては、3年前期までに履修できる精神保健福祉士指定科目を履修済みであることが望ましい。</p> <p>授業の理解をより深めるために、必ず事前に教科書を一読しておいてください。</p> <p>日頃から新聞やニュースなどに親しむことを通して、精神保健医療福祉を取り巻く現状に実践的関心を持つよう努めてほしい。</p>